

プレス資料

○「新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する緊急アンケート」

(4/30～5/14 実施：第1次集計速報) について

○医科・歯科一般医療機関の日常診療維持に関する要望について

当会では、4月末から5月中旬にかけて、「新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する緊急アンケート」を全国で実施しました。

現在第1次集計中ですが、新型コロナウイルス感染症が拡大している下で、医科・歯科ともに患者の受診動向に変化が生じ、一般医療機関の日常診療機能の維持、経営に大きな影響が及んでいる実態が明らかになっています。

こうした問題についてアンケートの結果（速報）をご紹介しますとともに、医科・歯科医療機関の要望について、ご紹介いたします。

日時 2020年5月25日（月）13時～

会場 厚生労働記者会 会見室

出席者	全国保険団体連合会	会長	住江憲勇
		歯科代表	宇佐美 宏
		副会長	森元主税
	東京保険医協会会長	会長	須田昭夫
		副会長	吉田 章

【この件についての連絡先】

全国保険医団体連合会（保団連）

担当事務局・工藤（mituteru@doc-net.or.jp）

TEL 03-3375-5121（代）

FAX 03-3375-1862



# 保団連「新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する緊急アンケート」

## 第1次集計「速報」について

2020年5月25日  
全国保険医団体連合会

全国保険医団体連合会では、4月30日から各地の保険医協会・医会を通じて、会員医療機関を対象に、「新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する緊急アンケート」を実施しました。

今回の速報は、5月14日までに寄せられた回答を第1次集約分（約5600件）とし、その一部（約3600件）を集計したものです。回収率等、第1次集約分の確報は6月初旬に公表する予定です。

### 「患者数」 およそ3割の医療機関で30%以上減少

速報値では、4月の診療実績では、内科医療機関の87.4%、歯科医療機関では87.5%で、患者数が前年同月より減少しています。「減った」との回答のうちでは、およそ3割の医療機関で昨年4月比で30%以上減少しています。

### 「保険診療収入」 4分の1の医療機関で30%以上減少

4月の保険診療収入も、内科医療機関で86.5%、歯科医療機関で82.5%、前年同月より減少しています。「減った」との回答うち、およそ4分の1の医療機関（内科26.1%、歯科23.2%）で、30%以上の減少となっています。

4月分のレセプトは6月の支払となります。6月以降の医療機関の資金繰りに大きな影響を及ぼすことが今から予測されます。

個別の医療機関の存続はもちろん、地域医療と国民の健康を確保する面ためにも医療機関の減収分を補填する緊急の手当が求められます。

### マスク等依然として不足 4割超で防護服「在庫なし」

物資については、医療用マスクは依然として不足の状況が続いています。「既に在庫なし」も含め、「在庫1カ月以内」の医療機関が内科で6割超、歯科で5割近くとなっています。

他の物資も不足しており、特に防護服は「在庫なし」が4割超で、特に歯科では半数の医療機関が「在庫なし」となっています。

医療機関が万全の感染防止策をとれるようにすることは、患者さんの不安や受診控えの解消につながります。

## 「損失補償」「人件費補助」の要望が4割超

7割の医療機関が、国・自治体による支援策の創設・拡充を要望しています。特に、「損失への補償」「人件費の補助」の要望は、それぞれ4割超となっています。

## 「患者の症状悪化」を懸念 「閉院考える」医療機関も

自由記載欄には、患者さんへの影響として「受診控えによる症状悪化」を懸念する声が出ています。また、医院経営の点からは「閉院を考える」との声も寄せられています。

## 「第2波・第3波」に備え、医療機関の立て直しを

「医療崩壊」とも言われる状況の中で、感染症患者を受け入れている医療機関はもちろん、地域で第一線医療を担っている一般病院、医科・歯科診療所でも感染拡大防止のための費用増や患者減により、日常診療の継続が困難になっています。

今後、「第2波・第3波」の拡大も予想されます。

地域医療は病院・一般診療の連携、役割分担で営まれています。個別医療機関が立ち行かなくなれば、その地域の医療提供体制にも影響します。

感染拡大に適切に対応するためにも、医療機関の立て直しが急務であり、当面、減収分の公的補填など医療機関への緊急の助成が必要です。

コロナ感染症への対応のための第2次補正予算が今通常国会で審議される予定です。今回のアンケート結果（第1次速報）から明らかになったことを踏まえ、地域医療を担う医科・歯科医師として下記の施策の実現を強く訴えます。

### 記

- 一、医科、歯科医療機関が経営破綻を起こさないよう、減収分を全額補填すること。希望する医療機関には、前年度診療報酬支払額に基づく概算請求を認めること。
- 一、医療用マスクや消毒薬、防護服等の防護用品を国の責任で確保し、すべての医療機関に早急に供給すること。

以上

# 新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する緊急アンケート

## 第1次集計速報

全国保険医団体連合会  
経営税務部

### 概要

調査期間	4月30日～5月14日
集計サンプル数	3684件
(5/24現在)	医科 2020件
	病院 204
	診療所 1816 (無床診 1698 有床診 118)
	歯科 1664件

※なお、集計サンプル数は都道府県ごとのばらつきがある

### 外来患者数 …およそ3割の医療機関で昨年4月比30%以上減少

#### 【医科】 (対前年4月比)

変化なし	6.7%
増えた	1.4%
減った	87.4%
無回答	4.4%

【資料①】

#### 減った割合

～30%	64.8%
～50%	21.3%
～70%	6.3%
70%～	1.7%
無回答	5.9%

【資料②】

#### 【歯科】 (対前年4月比)

変化なし	9.3%
増えた	1.7%
減った	87.5%
無回答	1.4%

【資料⑦】

#### 減った割合

～30%	66.8%
～50%	19.8%
～70%	3.8%
70%～	2.8%
無回答	6.8%

【資料⑧】

#### 【医科】

○病院では対前年同月比で患者が「減った」が87.7%【資料③】。減少幅は20.1%の病院で、30%以上減【資料④】。

○医科診療所では「減った」が87.7%【資料③】。そのうち、「30%以上減」との回答が、25.7% (無床診療所では31.1%)【資料④】。診療科別では、小児科、整形外科、眼科、耳鼻咽喉科では90%超が「減った」と回答【資料⑤】。「30%以上減少」との回答は、小児科で74.7%、耳鼻咽喉科で81.8%と特に顕著【資料⑥】。

【歯科】

○歯科では87.5%が「減った」と回答【資料⑦】。減少幅30%以上の歯科医療機関は26.4%【資料⑧】。

**保険診療収入 … 「減った」8割以上 うち4分の1の医療機関で30%以上減少**

**医科** (対前年4月比)

変化なし	7.1%
増えた	1.6%
<u>減った</u>	<u>86.5%</u>
無回答	4.8%

【資料⑨】

減った割合

～30%	64.4%
～50%	19.5%
～70%	5.4%
70%～	1.2%
無回答	9.4%

【資料⑩】

**歯科** (対前年4月比)

変化なし	12.3%
増えた	2.8%
<u>減った</u>	<u>82.5%</u>
無回答	2.4%

【資料⑮】

減った割合

～30%	65.7%
～50%	17.0%
～70%	4.1%
70%～	2.1%
無回答	11.1%

【資料⑯】

【医科】

○病院では保険診療収入が、対前年同月比で「減った」が81.9%【資料⑪】。そのうち12.6%の病院で減少幅30%以上【資料⑫】。

○医科診療所では「減った」が86.8%【資料⑪】。そのうち、23.0%（無床診療所では28.4%）で、30%以上減となっている【資料⑫】。

診療科別では、小児科、外科、整形外科、眼科、耳鼻咽喉科では90%超が「減った」と回答【資料⑬】。30%以上減少との回答は、小児科で68.4%、耳鼻咽喉科で77.5%と特に顕著【資料⑭】。

【歯科】

○歯科では保険診療について、82.5%が「減った」と回答【資料⑮】。そのうち減少幅30%以上の歯科医療機関は23.2%【資料⑯】

※このほか、歯科では下記の通り

「予約の延期やキャンセル」

〔増減〕	変化なし 8.2%	増えた 78.6%	減った 11.4%	無回答 1.8%
〔増えた割合〕	～30%=67.7%	～50%=14.9%	～70%=3.2%	70%～=2.1% NA=1.8%

「訪問診療件数」（訪問診療を実施している歯科医療機関中）

〔増減〕	変化なし 27.8%	増えた 1.4%	減った 62.8%	無回答 8.1%
〔減った割合〕	～30%=27.8%	～50%=12.0%	～70%=8.5%	70%～=29.8% NA=13.9%

## 物資 マスク等依然不足 防護服「在庫なし」医科4割、歯科5割

### ①医療用マスク

- ・医科 62.7%、歯科 47.8%で、在庫分は1月以内か既に在庫がない状況。

### ②消毒剤

- ・手指消毒剤については、医科 72.1%、歯科 58.4%で、在庫分は1月以内か既に在庫がない。
- ・なお、歯科では機材消毒剤について、47.4%が同様の状況。

※「充足」49.5%、「在庫1カ月以内」36.0%、「在庫半月以内」8.2%、「在庫1週間以内」1.9%、「既に在庫なし」1.3%、「無回答」3.2%

### ③医療用グローブ

- ・医科 55.4%、歯科 45.1%で、在庫1月以内か既に在庫がない状況。

### ④防護服

- ・医科 78.8%、歯科 70.3%で、在庫1月以内か既に在庫がない状況。  
「既に在庫がない」との回答は、医科 43.7%、歯科 49.1%

	充足	在庫1月以内	在庫半月以内	在庫1週間以内	既に在庫なし	無回答
医療用マスク(医)	35.4%	47.9%	10.2%	2.4%	2.2%	1.9%
医療用マスク(歯)	49.8%	38.0%	7.6%	1.7%	0.5%	2.3%
手指消毒剤(医)	25.9%	49.5%	14.8%	4.0%	3.8%	2.0%
手指消毒剤(歯)	39.4%	42.5%	10.3%	2.1%	3.5%	2.2%
グローブ(医)	38.8%	39.3%	10.5%	2.4%	3.2%	5.8%
グローブ(歯)	51.9%	35.0%	8.2%	1.4%	0.5%	2.9%
防護服(医)	8.2%	16.3%	7.6%	11.2%	43.7%	13.0%
防護服(歯)	12.1%	11.5%	4.6%	5.1%	49.1%	17.5%

## 国や自治体への要望 「損失の補償」「人件費の補助」を要望4割超

(複数回答)

損失への補償(給付金)	46.6%	(医科 37.4%	歯科 50.5%)
人件費への補助	40.8%	(医科 32.9%	歯科 45.4%)
家賃等への補助	23.9%	(医科 16.4%	歯科 20.2%)
資金繰りの補助	25.4%	(医科 17.2%	歯科 29.3%)
納税等の猶予措置	26.5%	(医科 22.4%	歯科 26.9%)
その他	4.0%	(医科 7.3%	歯科 3.6%)
無回答	26.7%	(医科 34.1%	歯科 21.7%)

## 自由記載欄に寄せられた声

### ▽コロナによる患者さんの受診控え 症状悪化の例も

- ・「コロナ感染がこわいので薬だけにしてほしい」という患者さんが増えた（医師）
- ・必要な検査をしたいが断られる。薬をふだんより多く出すよう求められる。受診間隔が長くなる（医師）
- ・治療が必要な患者さんも来ない（医師）
- ・GW中、休日当番医でしたが、コロナによる受診控えから炎症の急性発作を起こす症例が多かった（歯科医師）
- ・「歯科医院はコロナがこわいのでキャンセル」と言われた（歯科医師）
- ・電車利用で来院する患者が、電車が怖いと言って来院しない。新患の方がほぼ来られなくなっています（医師）
- ・なるべく外来に来たくないで、という方が多くみられます。少しくらいなら我慢しているという感じの方が多くなっているような気がします（医師）
- ・「近くでコロナが出て、次の週は 50%以上キャンセル。町外の患者さんはその後 100%キャンセル」（歯科医師）
- ・口腔ケア不良によると思われる体調不良の続出（歯科医師）
- ・長期処方を希望される方が増えた。病状が不安定な方が長期処方を希望されると…説明に困ります（医師）

### ▽医院経営が苦しい、「閉院を考える」との声も

- ・現在は昨年比 20%マイナスで何とかやっていますが、今後赤字が続くことが長期化すると人件費も重くのしかかってくると思ひ、不安になります（医師）
- ・現在の状況がいつまで続くのか、先が見えず不安です。クラスター発生源になりたくない。後継者がいないため閉院したほうが楽ではないかと考えることもあります（医師）
- ・万が一医院内で新型コロナ感染者が発生した場合、休業を余儀なくされたときの補償（所得保障、雇用に関する保障）があれば助かります（医師）
- ・この状態が続くようであれば廃業も検討せざるを得ない。
- ・経営が苦しくなった。閉院も考えている（医師）
- ・私（院長）が 70 歳を超えて老齢であり、感染の恐怖もありますが、医師としての使命ととの板ばさみになります。受診される患者さんはお断りできません。不十分ながら P P E、ドライブスルーをしています（医師）
- ・休診や診療時間の縮小に対する保障がなく、その後の再開についても明確な基準がないため診療を続けざるを得ない。スタッフを守るため休診も考えたが、テナントのため固定費の支払いもあり難しい（歯科医師）
- ・コロナ対策として器具、機材購入をしており、また、マスク、エプロン、アルコール等も高騰している。そのための給付金があれば助かる（医師医師）
- ・ただでさえスタッフ不足の上、求人がますます難しくなっています。今は現状の中で踏ん張るしかない状態です（歯科医師）

### ▽衛生材料の不足

- ・マスク、手指消毒剤が不足し、補充の見通しが立たない（医師）

- ・サージカルマスクのため、ラミネートシートを作ってフェイスガードとしている。100均サンバイザーとラミネートでフェイスシールド作製、ゴミ袋で長袖ガウン、エプロンを作って使用中、キャップの代わりにシャワーキャップ使用（歯科医師）

#### ▽PCR検査の現状や要望

- ・医師からの要請であるならPCR行ってほしい（医師）
- ・「3日位の38℃～39℃の発熱。職業はホテルのフロント」→保健所に本人が電話したが、「近医に受診してください」とのことであった。熱が4日ではなく3日であったためのようだ。無防備な診療所をいじめないでほしい（医師）
- ・早急にPCR検査専門にやる、ドライブスルー型の発熱外来を設置する方向でやっていただきたいと思います。もちろん協力するつもりです（医師）
- ・PCRは雲の上の検査。診療所では関わるできない（医師）
- ・小児科で熱・咳が見られないのはキツイ。ウイルス感染は抗体・抗原検査ができないと敵がわからない。疑診者すべてに検査ができる体制を（医師）
- ・発熱、倦怠があってもなかなかPCRが受けられないという患者が多く、いまだに変わっていない（医師）
- ・保健所の敷居が高すぎる。医師がPCR要請してもしてくれない！！（医師）

#### ▽風評被害

- ・私が歯医者として知らず、コンビニの店員から「この時期歯医者に行くのはリスク以外のなにものでもない」と大声で言われた。スタッフが友人から「歯医者って一番感染リスクが高いんですよ、大変だね」と嫌味を言われた（歯科医師）
- ・新型コロナウイルスの県内1例が当院で出たという事実と違う情報が流れて、患者さんの受診控えにつながったようだ（医師）
- ・当院で新型コロナが出たため、行かないほうが良いとの風評被害があった（市内全域に拡散していた）（医師）
- ・歯科治療を受けると感染するみたいな誤ったうわさでアポイントメントが減少している（歯科医師）
- ・当院の患者がPCR検査を受けたとのデマが流れ、受診抑制につながった（医師）
- ・テレビで歯科治療の危険性を放送した様で、患者よりTELあり、当院が通常通りしていることについて非難された。テレビ放送については、当院では確認できていません（歯科医師）。

以上

#### 今後の発表予定

- |          |  |
|----------|--|
| 5月25日（月） | 第1次集計「速報」について記者会見（厚労省記者会）<br>→本速報を補正の上発表                           |
| 6月4日（木）  | 第1次集計「確報」をもとにマスコミ懇談会<br>→5/14 締め切り分の集計を発表<br>【衆議院第2議員会会館 13時～（予定）】 |
| 6月中旬     | 最終結果の発表<br>→5/22 締め切り分の集計を発表                                       |



# 【医科】「新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する緊急アンケート」ご協力をお願い

日夜、地域医療へのご尽力に敬意を表します。

今般の新型コロナウイルス感染の拡大は長期化が予測され、今後はより多くの一般医療機関の日常診療への影響が懸念されています。各医療機関におかれましては、先生ご自身はもちろん、スタッフ等の罹患とその対応に不安をお感じのことと存じます。保険医協会及び全国保険医団体連合会では、会員医療機関の実情を把握して諸課題を発信し、医療行政等に反映させるべくアンケート調査を実施することとしています。

つきましては、ご多忙な折大変恐れ入りますが、下記要領に沿ってアンケートにご協力をお願いいたします。

## アンケート回答要領

\* 下記アンケートの□内にチェック、または、下線部もしくは囲み内にご記入の上、5月〇日までに下記宛先にFAXにてご返信ください。

**返信FAX宛先**      \* \* \* — \* \* \* — \* \* \* \*

\* アンケート用紙は2枚あります。

\* ご回答内容は、調査の目的以外には使用いたしません。

\* 本アンケートに関するお問い合わせは、\* \* \* — \* \* \* — \* \* \* \* (担当：〇〇) まで

# 【医科】新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する緊急アンケート

記入日 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日

## 1. 基本事項

- ①先生の年齢    20代～30代    40代    50代    60代    70代～
- ②医療機関の所在地（都道府県）    \_\_\_\_\_
- ③医療機関形態    病院（病床数：\_\_\_\_\_床）【→④⑥へ】    無床診療所【→⑤⑥へ】    有床診療所【→⑤⑥へ】
- ④- 1 病院の主な病床機能（1つ）    急性期    回復期    療養    その他  
 - 2 病院の主な診療科（1つ）    総合病院    内科系    外科系    脳神経外科    整形外科    産婦人科    その他
- ⑤診療所の主な標榜科（1つ）    内科    精神科    小児科    外科    整形外科    皮膚科    泌尿器科  
眼科    耳鼻咽喉科    その他（\_\_\_\_\_）
- ⑥病院・診療所の土地・建物    自己所有（法人所有含む）    賃貸（一戸建て）    賃貸（テナント）

## 2. 診療状況（今年4月と前年4月との比較）

- ①外来患者数    変化なし    増えた    減った（増減の程度＝～30%    ～50%    ～70%    70%以上）
- ②患者からの予約の延期やキャンセルの依頼件数  
変化なし    増えた    減った（増減の程度＝～30%    ～50%    ～70%    70%以上）
- ③電話再診件数    変化なし    増えた    減った（増減の程度＝～30%、～50%    ～70%    70%以上）
- ④保険診療収入    変化なし    増えた    減った（増減の程度＝～30%、～50%    ～70%    70%以上）
- ⑤在宅・訪問診療件数  
変化なし    増えた    減った（増減の程度＝～30%    ～50%    ～70%    70%以上）
- ⑥患者さんの受診手控え、訪問診療先から断られる等、お気づきの点、お困りの点がありましたらご記入ください。

## 3. 診療の状況に関して

- ①休診等の対応について  
通常通り診療している    診療日数・時間を減らしている    休診している（期間：\_\_\_\_\_）  
休診を予定している    閉院を検討
- ②休診等を決めた理由をお聞かせください（※複数回答可）  
患者さんが減った    緊急事態宣言が出されたから    感染を防ぐため  
（患者さんやスタッフから）感染者が出た    スタッフを確保できない

2枚目もご記入ください

4. 医療機関スタッフの対応、勤務・出勤等の対応について（※複数回答可）

- 特に変更なし       スタッフの勤務調整（勤務時間短縮、出勤日の調整など）を行った  
 スタッフの勤務日数を減らしてもらった       出勤できない職員がいる（理由：  
 やむを得ず解雇した

5. 医療機関スタッフの勤務時間や日数を減らした場合の給与支払について

- 全額支給している       一部支給している（      %支払い）       無給としている       未定、今後検討

6. 発熱患者への対応（※複数回答可）

- 来院自粛をお願いしている       特別な発熱外来を設置       動線を分離       別室で診療  
 診療時間を変更       院外で対応（車中・インターホン・電話など）  
 その他 \_\_\_\_\_

7. 医薬品や衛生用品等の現時点での確保状況（発注中で未着のものは含まない）

- ①医療用マスク       充足       在庫1カ月以内       在庫半月以内       在庫1週間以内       既に在庫なし  
②手指消毒剤       充足       在庫1カ月以内       在庫半月以内       在庫1週間以内       既に在庫なし  
③機材消毒剤       充足       在庫1カ月以内       在庫半月以内       在庫1週間以内       既に在庫なし  
④グローブ       充足       在庫1カ月以内       在庫半月以内       在庫1週間以内       既に在庫なし  
⑤防護服       充足       在庫1カ月以内       在庫半月以内       在庫1週間以内       既に在庫なし  
⑥ゴーグル       充足       在庫1カ月以内       在庫半月以内       在庫1週間以内       既に在庫なし  
⑦フェイスシールド       充足       在庫1カ月以内       在庫半月以内       在庫1週間以内       既に在庫なし  
⑧生理食塩水、精製水       充足       在庫1カ月以内       在庫半月以内       在庫1週間以内       既に在庫なし  
⑨その他不足しているもの \_\_\_\_\_

8. PCR検査について

- ①PCR検査を依頼したことが       ない       ある（ \_\_\_\_\_ 件）【→②③へ】  
②PCR検査の必要性を指摘したにも関わらず、保健所・指定病院等から検査を拒否された事例はありましたか  
 ない       ある（ \_\_\_\_\_ 件）  
③PCR検査について患者からの要望や、お気づきの点、お困りの点がありましたらご記入ください

9. 新型コロナウイルスに関連して、いわゆる「風評被害」はありましたか

- ない       ある（→ に具体例をご記入下さい）

10. 国・自治体等の助成金や融資について

- ①申請する予定はありますか  
 申請した       申請を検討している       申請したいができない       予定していない  
②国・自治体等に創設・拡充を希望する支援策（※複数回答可）  
 損失への補償（給付金）       人件費への補助       家賃等の補助       資金繰りの補助（特別融資など）  
 納税等の猶予措置       その他（ \_\_\_\_\_ ）

11. コロナ感染拡大に伴う診療対応や感染防止対策、医院経営、スタッフの雇用などでの不安やお困りごと、その他、行政への要請、保険医協会・医会、保団連へのご要望等がありましたらご記入ください

ご協力ありがとうございました

返信FAX宛先

\*\*\*—\*\*\*—\*\*\*

# 歯科「新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する緊急アンケート」 ご協力のお願い

日夜、地域医療へのご尽力に敬意を表します。

今般の新型コロナウイルス感染の拡大は長期化が予測され、今後はより多くの一般医療機関の日常診療への影響が懸念されています。各歯科医療機関におかれましては、先生ご自身はもちろん、スタッフ等の罹患とその対応に不安をお感じのことと存じます。保険医協会及び全国保険医団体連合会では、会員医療機関の実情を把握し、歯科医療機関が抱える諸課題を発信し、医療行政等に反映させるべくアンケート調査を実施することとしています。つきましては、ご多忙な折大変恐れ入りますが、下記要領に沿ってアンケートにご協力をお願いいたします。

## アンケート回答要領

\*下記アンケートの□内にチェック、または、下線部もしくは囲み内にご記入の上、5月〇日までに下記宛先にFAXにてご返信ください。

**返信FAX宛先**

**\*\*\*—\*\*\*—\*\*\***

\*アンケート用紙は2枚あります。

\*ご回答内容は、調査の目的以外には使用いたしません。

\*本アンケートに関するお問い合わせは、**\*\*\*—\*\*\*—\*\*\***（担当：〇〇）まで

# 歯科新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する緊急アンケート

記入日 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日

## 1. 基本事項

- ①先生の年齢    20～30代    40代    50代    60代    70代～
- ②歯科医療機関の所在地（都道府県） \_\_\_\_\_
- ③歯科診療所の土地・建物    自己所有    賃貸（一戸建て）    賃貸（テナント）
- ④診療形態について    外来のみ    訪問診療を行っている（全診療における訪問診療の割合 \_\_\_\_\_（%））
- ⑤標榜している診療科（該当するものはすべてチェックをお願いします）  
歯科    口腔外科    小児歯科    矯正歯科

## 2. 診療状況（今年4月と前年4月との比較）

- ①外来患者数    変化なし    増えた    減った    （増減の程度＝～30%    ～50%    ～70%    70%以上）
- ②患者からの予約の延期やキャンセルの依頼件数  
変化なし    増えた    減った    （増減の程度＝～30%    ～50%    ～70%    70%以上）
- ③電話再診件数  
変化なし    増えた    減った    （増減の程度＝～30%、～50%    ～70%    70%以上）
- ④保険診療収入  
変化なし    増えた    減った    （増減の程度＝～30%、～50%    ～70%    70%以上）
- ⑤訪問診療件数  
変化なし    増えた    減った    （増減の程度＝～30%    ～50%    ～70%    70%以上）
- ⑥患者さんの受診手控え、訪問診療先から断られる、診療できないことによる患者さんの口腔状況等悪化等、お気づきの点、お困りの点がありましたらご記入ください

2枚目もご記入ください

### 3. 診療の状況に関して

#### ①休診等への対応について

- 通常通り診療している 診療日数・時間を減らしている 休診している(期間: )  
休診を予定している 閉院を検討

#### ②休診等を決めた理由をお聞かせください(※複数回答可)

- 患者さんが減った 緊急事態宣言が出されたから 感染を防ぐため  
 (患者やスタッフから)感染者が出た スタッフが確保できない

### 4. 医療機関スタッフの勤務・出勤等の対応について(※複数回答可)

- 特に変更なし スタッフの勤務調整(勤務時間短縮、出勤日の調整など)を行った  
スタッフの出勤日数を減らしてもらった 出勤できない職員がいる(理由: )  
やむを得ず解雇した

### 5. 医療機関のスタッフの勤務時間や日数を減らした場合の給与支給について

- 全額支給している 一部支給している( %支払い) 無給としている 未定、今後検討

### 6. 医薬品や衛生用品、防護用品等の現時点での確保状況(発注中で未着のものは含まない)

- ①医療用マスク 充足 在庫1カ月以内 在庫半月以内 在庫1週間以内 既に在庫なし  
②手指消毒剤 充足 在庫1カ月以内 在庫半月以内 在庫1週間以内 既に在庫なし  
③機材消毒剤 充足 在庫1カ月以内 在庫半月以内 在庫1週間以内 既に在庫なし  
④グローブ 充足 在庫1カ月以内 在庫半月以内 在庫1週間以内 既に在庫なし  
⑤防護服 充足 在庫1カ月以内 在庫半月以内 在庫1週間以内 既に在庫なし  
⑥ゴーグル 充足 在庫1カ月以内 在庫半月以内 在庫1週間以内 既に在庫なし  
⑦フェイスシールド 充足 在庫1カ月以内 在庫半月以内 在庫1週間以内 既に在庫なし  
⑧生理食塩水、精製水 充足 在庫1カ月以内 在庫半月以内 在庫1週間以内 既に在庫なし  
⑨その他不足しているもの \_\_\_\_\_

### 7. 風評被害について

- 新型コロナウイルスに関連して、いわゆる「風評被害」はありましたか  
ない ある(→に具体例をご記入ください)

### 8. 国・自治体等の助成金や融資について

#### ①申請する予定はありますか

- 申請した 申請を検討している 申請したいができない 予定していない

#### ②国・自治体等に創設・拡充を希望する支援策(※複数回答可)

- 損失への補償(給付金) 人件費への補助 家賃等の補助 資金繰りの補助(特別融資など)  
納税等の猶予措置 その他( \_\_\_\_\_ )、

### 9. コロナ感染拡大に伴う診療対応や感染防止対策、医院経営、スタッフの雇用などで不安やお困りごと、その他、行政への要請、保険医協会・医会、保団連への要望等ありましたらご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

返信FAXあて先

\*\*\*-\*\*\*-\*\*\*\*

内閣総理大臣 安倍 晋三 様  
財 務大臣 麻生 太郎 様  
厚生労働大臣 加藤 勝信 様

**国民の命と健康を守るため、  
医科・歯科医療供給体制の継続的確保対策を求める緊急要請**

2020年5月1日  
全国保険医団体連合会  
会長 住江 憲勇

新型コロナウイルス感染症対策に対するご尽力に敬意を表します。

しかし、新型コロナウイルス感染症患者の入院治療を担う病院では、人的、物的、経済的に大きな負担を強いられ、「医療崩壊」の危機が差し迫っています。

また、一般病院や医科・歯科診療所においても、新型コロナウイルス感染症拡大阻止に向けた対策の強化を行いながら、日常診療に取り組んでいますが、マスクや消毒液をはじめとした感染防御具・衛生材料等の不足で、対応は困難を極めています。

こうした状況に加えて、受診患者が大幅に減少するとともに健診などは中止せざるをえず、医業収入は大幅に減収となっており、医療機関の経営に重大で深刻な影響が出ています。このままでは廃業を余儀なくされる医科・歯科医療機関が出てきます。

医科・歯科医療機関は、国民の命と健康を守る重要な社会資源です。

直ちに下記事項の実現を図られるよう、強く要望いたします。

**記**

**（医科・歯科医療機関の経営破綻阻止に向けた緊急対策）**

- 一. 医科・歯科医療機関が経営破綻を起こさないよう、減収分を全額補填すること。希望する医療機関には、前年度の診療報酬支払額に基づく概算請求等を認めること。
- 一. 新規開設医療機関については、赤字分を補填する特例助成を行うこと。
- 一. 医療機関を受診した患者が、新型コロナウイルス感染者であることが判明し、診療を休止又は縮小せざるを得なくなった場合の損失を補填すること。
- 一. 従業員に支払った休業手当の助成率を、一律 10/10 とすること。
- 一. 福祉医療機構の医療貸付事業や日本政策金融公庫貸付などを拡充し、用途の制限を設けず、無利子かつ10年以上の返済猶予期間を設定した特例貸付を行うこと。手続きを迅速化すること。
- 一. 家賃について、日本政策金融公庫が家賃を肩代わりし、支払いを猶予すること。借入金の返済猶予措置をとること。

**（一般診療継続のための緊急対策）**

- 一. 公費負担により、医科・歯科医療機関のすべての職員について、新型コロナウイルス

検査を、定期的の実施できるようにすること。

- 一. 公費負担により、すべての入院患者について、PCR検査の実施と検査結果が判明するまでの個室処遇が実施できるようにすること。
- 一. 新型コロナウイルス感染症拡大によって施設基準や研修要件が満たせない事態が発生していることから、すべての施設基準及び研修要件について、別に厚生労働大臣が定めるまでの間は、要件を満たしているものとして取り扱うこと。
- 一. 医療用マスク、消毒液、ディスポーザブルのガウン、ゴーグルやフェイスシールド、手袋などの確保を国・自治体として行うこと。

### **(患者の医療確保)**

- 一. 低所得者及び収入が減少した世帯の医療保険の保険料・患者負担の徴収を直ちに猶予し、一定所得以下については免除すること。
- 一. 通常の国保証をすべての加入者に届け、国保資格証明書の交付を止めること。
- 一. 無保険者をなくすこと。当面无保険者であっても新型コロナウイルス検査や通常の医療が受けられるようにし、受療案内を徹底すること。

### **(新型コロナウイルス感染症患者対策)**

- 一. 新型コロナウイルス検査の抜本的な改善を行うこと。
  - ① PCR検査実施可能件数の抜本的な拡大を図るとともに、医師の判断のもと迅速に実施できるようにすること。
  - ② 発熱外来設置やPCR検査センター運営費用の全額を国が負担すること。また検体採取に必要な感染防御具・衛生材料等の確保を国・自治体として行うこと。
  - ③ 新型コロナウイルス抗原検査・抗体検査についても早急に保険導入・公費負担対象とし、精度向上を図ること。
- 一. 新型コロナウイルス感染症患者の入院治療を担う病院への十分な手当てを行うこと。
  - ① 人員配置及び設備配置に見合って、診療報酬の更なる引き上げを行うこと。
  - ② 新型コロナウイルス感染症患者の治療・看護に必要な感染防御具・衛生材料等の確保を国・自治体として行うこと。
  - ③ 空床確保に対する補填を行うこと。
- 一. 治療薬・ワクチン開発を国として責任をもってすすめること。

### **(感染症対策の抜本的強化)**

- 一. 病院の再編・統合計画、地域医療構想に基づく急性期病床を中心とする病床削減は直ちに中止すること。地域医療構想を前提とした医師・看護師需給計画を抜本的に見直すこと。
- 一. 保健所数の拡大、機能の強化を行うこと。
- 一. 日本においてもCDCを創設し、感染症に対応できる仕組みを構築すること。

以上

事務連絡  
令和2年4月6日

公益社団法人 日本歯科医師会 御中

厚生労働省医政局歯科保健課

歯科医療機関における新型コロナウイルスの感染拡大防止のための  
院内感染対策について

標記について、別添のとおり各都道府県、各保健所設置市、各特別区衛生主管部局宛て事務連絡を発出しましたので、その内容についてご了知いただくとともに、貴団体会員等に対して周知していただくようお願いいたします。

事務連絡  
令和2年4月6日

各  
都道府県  
保健所設置市  
特別区  
衛生主管部（局） 御中

厚生労働省医政局歯科保健課

歯科医療機関における新型コロナウイルスの感染拡大防止のための  
院内感染対策について

歯科医療機関における院内感染対策については、「歯科医療機関等に対する院内感染に関する取り組みの推進について（周知依頼）」（令和元年11月22日付け医政歯発1122第1号厚生労働省医政局歯科保健課長通知）」等において、必要な取り組みを行うよう依頼してきたところですが、今般、新型コロナウイルスについて、政府の新型コロナウイルス感染症対策本部において出された「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」（令和2年3月28日新型コロナウイルス感染症対策本部決定。）を受けて、新型コロナウイルスによる感染拡大防止の観点から、下記の点に留意していただくよう、貴管下の歯科医療機関に周知していただくようお願いいたします。

記

1 標準予防策の徹底について

歯科医療に関連する一般歯科診療時の院内感染の予防策については、「一般歯科診療時の院内感染対策に係る指針（第2版）」を厚生労働省ホームページにおいて公表していることから、参考にする事。

2 歯科診療実施上の留意点について

新型コロナウイルスについては、飛沫感染が主体と考えられており、標準予防策に加え、接触感染予防策、飛沫感染予防策が必要である。歯科診療においては、唾液等の体液に触れる機会が多いことや歯の切削等によりそれらが飛散することがあるなどの特性に鑑み、感染拡大防止のため、以下の点に特に留意すること。

- (1) 歯科診療の実施前に、患者の状態について、発熱や咳などの呼吸器症状の有無や海外渡航歴等について確認すること。新型コロナウイルス感染症の疑いがある場合については、速やかに「帰国者・接触者相談センター」にご相談いただくよう、患者に伝えること。
- (2) 診療室の定期的な換気を実施するとともに、診療の内容に応じて、感染リスクを減らすための対策を適切に行うこと。なお、歯科医師の判断により、応急処置に留めることや、緊急性がないと考えられる治療については延期することなども考慮すること。
- (3) 歯科診療を行う上での留意点については、関連学会から考え方が示されているので参考にする事。



# 国民の皆様へ

現在の新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえ、  
歯科医療機関には、緊急性が少なく延期しても大きな問題がない治療、  
定期健診、訪問診療などの延期の検討をお願いしています。

また治療の延期の際には、対面せず電話などで指導をさせて  
いただくことがあります。ご理解とご協力をお願いいたします。

一方、治療の緊急性については、痛みや腫れなどを放置すると重症化や  
全身へ影響を及ぼすことがあります。  
歯周病などの定期管理も全身状態に関係し、高齢者や特に在宅や介護施設での  
口腔衛生状態の低下で誤嚥性肺炎などが生じることが懸念されます。  
義歯を装着せず、噛めない状況が続くことは、全身の健康を損ないます。

このように処置の緊急性は患者さんの状態により様々ですので、  
**まずはかかりつけ歯科医にご相談ください。**

不規則な食生活を避け、口の中を清潔にして細菌の数を減らすことが、誤嚥性肺炎や  
ウイルス性疾患の予防につながります。毎食後の歯磨きをはじめお口の健康を保ちましょう。

歯科医師、スタッフにとって感染リスクが高いとされる歯科医療現場ですが、  
これまで歯科治療を通じて患者さんの感染の報告はありません。  
更に感染予防策を徹底し、国民の皆様の健康を守るために取り組んでいきます。

公益社団法人 日本歯科医師会



<https://www.jda.or.jp/corona/>

## 新型コロナウイルスの感染拡大に対し 政府・厚労省に歯科医業の継続と国民の口腔の健康確保のための 責任ある対応を求める

2020年4月22日  
全国保険医団体連合会  
歯科代表 宇佐美 宏

厚労省は4月6日に「歯科医療機関における新型コロナウイルスの感染拡大防止のための院内感染対策について」とした事務連絡を発出。歯科医院における標準予防策の徹底とともに、歯科診療実施上の留意点を示した。

社会全体で新型コロナウイルスの感染拡大を防止することが求められており、歯科医院においても十分な感染対策の実施、緊急性に鑑みた治療や管理の計画策定等、患者と歯科医療従事者を感染から守ることに十分に留意しながら診療に取り組んでいるところである。

新型コロナウイルスの感染拡大防止が一義的な課題となる現状においても、歯科医療の役割は重要である。急性症状への対応はもちろん、口腔ケアの徹底は感染防止対策の観点からも非常に有用であり、国民の健康を守るために歯科医療の提供は欠かせない。

現在、歯科医療従事者は新型コロナウイルスへの感染リスクに晒されながら診療している。また、外出自粛による患者減に加え、事務連絡が示すような感染防止を考慮した治療の延期等による収入減は、ただでさえ低歯科診療報酬の下で厳しい経営を強いられている歯科医院にとって、耐えきれない経営リスクとなる。さらに、感染防止のためには診療の縮小や休診も余儀なくされかねない状況である。つまり、歯科医師は感染への不安と、経営の不安との二重の不安を抱えながら日常診療にあたっている。

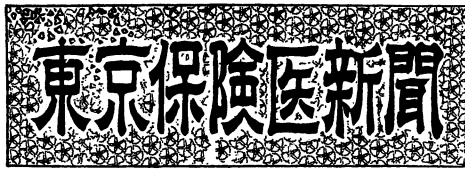
こうした中、厚労省の事務連絡は、治療の延期などを「歯科医師の判断」で考慮するよう求めている。経営上の深刻な懸念を放置して、一方的に歯科医師の責任での判断を求める厚労省の姿勢には問題がある。歯科医師に判断を求めるのであれば、判断に伴うリスクに対して国が責任をもって補償策を示すことが必要である

同時に、歯科医院での治療の延期等は歯科技工取引の減少を意味し、歯科技工所の経営難にも直結する。これは歯科技工所の経営努力等では決して解決しえないものである。歯科技工所の自己責任に任せては日本の歯科技工の危機を加速することになる。歯科医院とともに、歯科技工所に対する特段の補償策が不可欠である。

歯科医療従事者が少しでも安心して歯科医療を提供できる環境を作り、歯科医療が患者・国民の命と健康を守る役割を十分に発揮できるようにすることが、政府・厚労省の責務である。

マスクをはじめ感染防護に必要な資材の安定供給や対策経費の十分な補填を行うとともに、患者減少や休診等での減収により歯科医院や歯科技工所の経営が危ぶまれることのないよう、休業補償等の手立てを具体的に示すことが強く求められるものである。

今号の主な記事	・視点「新型コロナ拡大を把握しない不作為」 ・国会行動	2面
	・新点数Q&A ・新型コロナ関連の要望書	3面
	・新型コロナ臨時的取り扱いQ&A ・給付金・助成金等について	4面

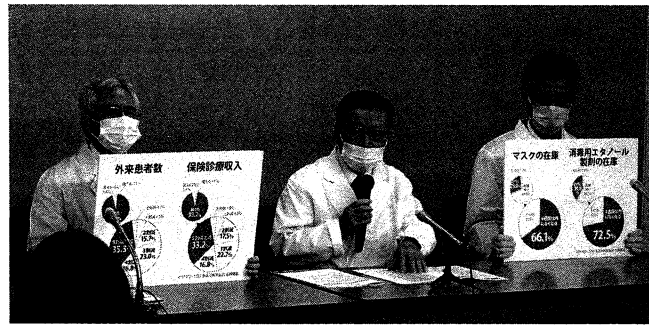


(昭和41年5月10日第三種郵便物認可)  
発行所 東京保険医協会  
〒160-0023 新宿区西新宿3-2-7 KDX新宿ビル4階  
電話 (03)5339-3601 / FAX(03)5339-3449  
協会ホームページ https://www.hokeni.or.jp  
月3回5・15・25日発行 1ヵ月900円  
発行人・小形歩

【会員の購読料は、会費に含まれております】

<緊急会員アンケート>

# 9割超の医院が患者減



アンケート結果を発表する須田会長(中央)、吉田副会長(左)、細田理事(右)

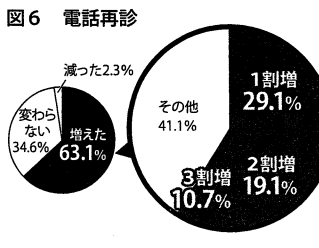
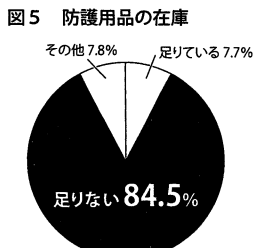
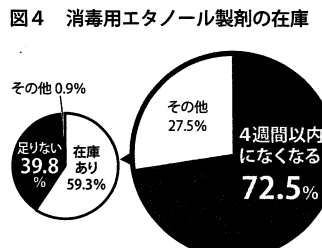
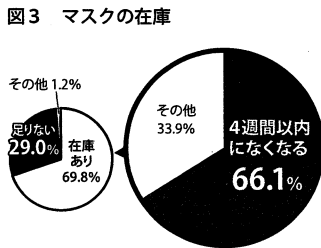
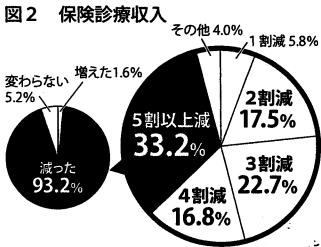
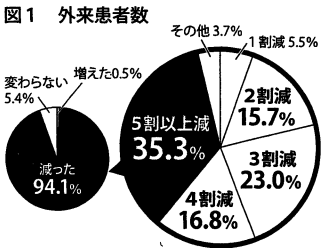
## 厚労省で記者会見

東京保険医協会は4月23日、厚生労働省(内)で記者会見を行い、協会が実施した「新型コロナウイルス感染症による医療経営への影響」(緊急アンケート)の結果を発表した。

新型コロナウイルス感染症拡大で都内の多くの医療機関が深刻な打撃を受け、経営に困難を抱えている実態を訴えた。

アンケートは、4月14日に会員医療機関468件にEメールで送付し、4月17日までに都内1万1千1件の医療機関から回答を得た(回収率25.6%)。

集計の結果、一般診療所は94.1%で外来患者が減少、93.0%で保険診療収入が減少していることが明らかになった。



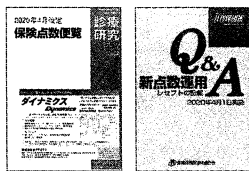
マスクでは29.0%、消毒用エタノール製剤では39.8%、防護用品では84.5%の医療機関が「足りない」と回答した。「在庫あり」と回答している医療機関でもマスクで66.1%、消毒用エタノール製剤で72.5%が「4週間以内になくなる」と回答している(図3、4参照)。

協会に寄せられた声(自由記述欄から抜粋)

- 患者は1日10人以下の毎日です。家賃・人件費は変わらず、経営破綻しそうです。
- ネプライザーなど感染リスクの高い処置ができず、収入が激減しているため、休診を考えている。
- 開業と新型コロナウイルス感染症が重なり、患者数が少なく苦戦している。
- 電話での内服薬希望の患者が多く、外来管理加算が算定できず、検査件数も激減している。
- 電話での診療は、事務手続きの煩雑さに対して報酬が低すぎる。
- 患者数、健診、予防接種等すべて激減しています。
- 長期間の感染拡大の影響により、経営状況の悪化や職員の疲弊(心身ともに)が心配である。
- マスク、消毒用エタノール、手袋の供給が不安定で困っている。マスクは同じものを2週間使わざるを得ない。
- 防護用品が足りず、自己防衛できないとなると診療を断らざるを得ない。
- 医療者の生命と健康を守るため、国が責任を持ってマスクなど防護用品を確保すべきだ。
- 新型コロナウイルスのPCR検査をスムーズに行うようにしてほしい。

<書籍発送のご案内>

「2020年4月改定 保険点数便覧」および「新点数運用レセプトの記載Q&A 2020年4月」を、5月中旬に全会員に無料でお送りします(ゆうパック)。



【4面】新型コロナ臨時的取り扱いQ&A 給付金・助成金等について

医療崩壊を防ぐため、緊急の対策を... 自由意見欄には、医療経営の厳しい現状が... 声も複数寄せられている。アンケート結果から、医療機関の経営基盤が大きく揺らぎ、閉院や休業、従業員への解雇を検討する医療機関が増えていることが明らかになった。この状況が続けば、多くの一般診療所も私が居ればという状況とはなりません。... 手配は、多くの一般診療所も私が居ればという状況とはなりません。... 手配は、多くの一般診療所も私が居ればという状況とはなりません。...

見もありません。マスクの正しい利用方法は医療関係者に聞いてほしい。官邸政治や独裁は誤りの元。(AS)

マスクの効用が話題となっていた供給不足が、法外な価格を招き、手作りで可愛い布製マスクが登場し好評を博した。東京新聞は3月24日、布製マスクの作り方を、型紙つきで報じた。4月1日、安倍総理は2000円の布製マスクを、全世帯に2枚ずつ配布することを断念で発表した。総額466億円の経費がかかる。全世帯に一律で家族数や所得は考慮しない。住所がない人も届くのか、切迫した医療現場を無視しているなどの意見があった。安倍氏の支持者からも、エイプリルフールの冗談ではないかという声が上がった。奇想天外な考えを「アノノス」と嗤う者もいた。全国小中学校の休校を、独断発表した反省がない。世界保健機関(WHO)は布製マスクは、いかなる状況の下でも推奨できない。... 手配は、多くの一般診療所も私が居ればという状況とはなりません。...

2020年5月18日

報道機関 各位

大阪府歯科保険医協会アンケート調査

## 新型コロナで「歯科医療崩壊」の危機

- ✓ ほぼ全ての歯科医院が外来患者減 「受診手控え」「診療自粛」の影響深刻
- ✓ 歯科医院廃業の危機！ 保険診療収入5割以上減が16%
- ✓ マスク「足りない」5割超 衛生材料が軒並み不足
- ✓ 受診の中断で健康悪化・肺炎などのリスク高まる懸念

大阪府内の歯科医師4200人で行う大阪府歯科保険医協会は、新型コロナウイルスの感染拡大による歯科医療機関への影響を調査するため、会員の歯科医師を対象に緊急アンケートを実施しました。

感染懸念から受診の手控えが急増し、診療の自粛とも相まって患者数が大幅に減少していることが分かりました。受診の中断による健康悪化が懸念されるとともに、患者減による経営悪化で「歯科医療崩壊」を引き起こしかねない深刻な状況が浮き彫りになりました。

調査名：新型コロナウイルス感染症の影響に関する緊急アンケート

調査期間：4月27日～5月7日

調査方法：大阪府歯科保険医協会・開業医会員2833人に調査票をファクス（回答率21.5%）

**調査結果の概要は次ページ参照**

※調査結果についてメディア各社・記者の皆様との懇談会を開催します

【日時】5月20日（水）15:00～16:00

【場所】大阪府保険医会館5階会議室（大阪市浪速区幸町1-2-33）

【内容】「新型コロナウイルス感染症の影響に関する緊急アンケート」の報告・懇談  
弊会の役員（歯科医師）が報告し、ご質問に答えます。

【申込】下の欄に必要事項を記入の上、ファクスでご返信ください

5/20 懇談会への参加申込書

送信先 FAX06-6568-0564（政策部行）

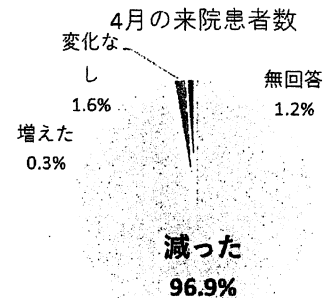
御社名

お名前

電話

## 96.9%が外来患者数「減った」 昨年4月比で「5割以上」減が2割超

2020年4月の歯科外来患者の来院状況について尋ねたところ、前年同月比で「減った」96.9%でした。減少幅は、「～30%」が35.5%、「～50%」が36.2%、「～70%」が13.6%、「70%以上」が7.6%となっており、昨年4月に比べて患者が5割以上減った会員院所が21.2%に上る深刻な状況が浮き彫りになりました。



訪問歯科診療ではさらに深刻で、訪問件数が5割以上減少した会員院所が38%に上っています。

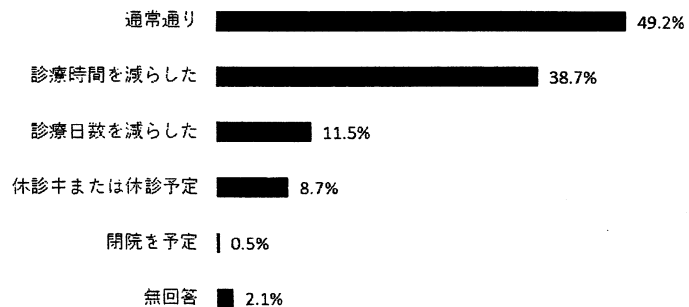
意見欄には、「メンテナンスの患者さんからのキャンセルが多い」「歯科受診の危険を強調する報道の影響が著しい」「医院からキャンセルの連絡をした」などの声が寄せられました。

患者減少の背景には、▽「院内感染」を懸念して患者が受診を控えるケース▽緊急事態宣言で患者が外出そのものを控えるケース▽歯科医院側が感染防止のために診療を自粛するケース——などが考えられます。

## 約半数が診療を一部自粛 患者減少や感染対策でやむを得ず制限

緊急事態宣言下における歯科診療の状況について聞くと、「診療時間を減らしている」が38.7%、「診療日数を減らしている」が11.5%と合わせて50.2%と約半数の歯科医療機関で診療体制を制限していることが明らかになりました。また「休診または休診予定」が8.7%、「閉院を予定」も0.5%となっています。

診療体制について

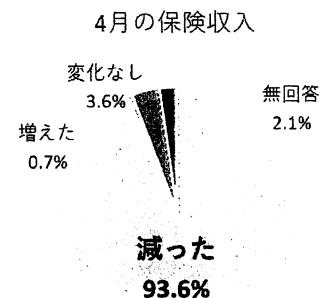


「診療制限の理由」は、「感染リスクを防ぐため」が39.5%と最も多く、「緊急事態宣言が出されたから」が31.4%、「患者さんが減った」が31.3%と続きました。

「その他」には、「患者同士の感染を防ぐために予約を制限している」、「出勤するスタッフを半分にしている」などの回答が寄せられ、感染リスクの中で診療を続けざるを得ない歯科医療機関の姿がうかがえました。

## 保険診療収入は16%が「5割以上減少」 経営支援を求める声相次ぐ

受診手控えと診療自粛で患者数が激減し、2020年4月の保険診療収入が前年同月比で「減った」と回答が93.6%と9割を超えました。減少幅では「～30%」が39.4%、「～50%」が32.9%、「～70%」が11.1%、「70%以上」が4.9%となっています。会員院所の16%で保険診療収入が5割以上減るなど、歯科医療提供体制にとって未曾有の危機が広がっています。



必要な公的支援について複数回答で尋ねたところ、「損失への補償」が67.4%、「人件費への補助」が57.9%、「納税などの猶予措置」が42.4%、「家賃等への補助」が39.6%、「資金繰りの補助（特別融資）」が38.2%

と続いた。

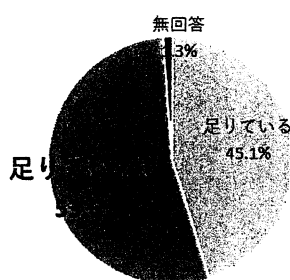
歯科医療機関は「休業要請の対象」とはなっておらず、経営を脅かすほど深刻な患者減少や、感染リスクを減らすために診療を自粛しながらも歯科治療を提供し続けています。歯科医療提供体制を守る為にも総合的な公的支援が求められています。自由記入欄には、「外出および受診の手控えの影響をまろに受けた感じがあります。いつまで持ちこたえられるか不安になります」など、切実な声が寄せられています。

## マスク「足りない」53.6% 衛生材料不足が深刻

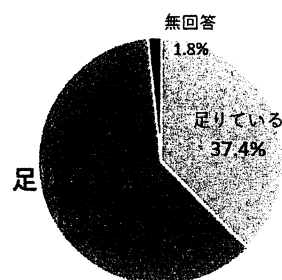
マスクやグローブなどの衛生材料の確保状況を尋ねたところ、「足りていない」との回答はマスク 53.6%、手指消毒剤 60.8%、グローブ 53.8%、フェイスシールド 63.1%など、軒並み不足しています。政府はマスクを一括で買い上げ、医療機関に優先的に配布していますが、供給量が圧倒的に不足している実態が明らかになりました。

意見欄には、「3倍以上の価格で購入しており、それだけでも赤字になる」「消毒剤や防護服が足りないのので、（緊急事態）宣言が長引けば通常の診療ができない」などの声が寄せられました。

医療用マスクの確保状況



手指消毒剤の確保状況



## 受診中断で健康悪化を懸念 歯科提供体制の維持へ公的支援を

新型コロナウイルスの拡大の影響で、歯科医療機関は患者数の大幅な減少に見舞われています。受診の手控えで何より心配なのは健康の悪化です。慢性炎症である歯周病が重症化すれば、体の免疫機能が低下し、風邪や肺炎などの感染症にかかりやすくなってしまうため、適切に受診することが大切です。

一方、患者減による医院経営への影響は深刻です。厚労省は緊急性がない治療の延期考慮を歯科医師に求めており、多くの歯科医療機関が診療を一部自粛しています。しかし、政府による給付金や助成金が不十分なことに加え、歯科医療機関は休業要請の対象になっていないため、大阪府の休業要請支援金を受けることができません。

診療報酬は各診療月の2カ月後に医療機関に振り込まれるため、今後、経営環境が一気に悪化する可能性があります。このままではコロナ終息後に受診しようとしても、「かかりつけの歯科医院が閉院していた」ということにもなりかねません。

また、院内感染を防ぐには衛生材料は欠かせません。歯科診療を継続するために、不足している医療機関には国や自治体の責任で確実に供給する仕組みが必要です。

地域の歯科医療提供体制を維持するために、一刻も早い経営支援の拡充と衛生材料の供給が求められます。

【問い合わせ先】

大阪府歯科保険医協会（担当・政策部）

住所：大阪市浪速区幸町 1-2-33

電話：06-6568-7731

会員各位

東京歯科保険医協会

## 「新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する緊急アンケート」 ご協力のお願い

今般の新型コロナウイルス感染拡大は長期化が予測され、さらなる日常診療への影響が懸念されています。各歯科医療機関におかれましては、先生ご自身やスタッフ、患者への感染とその対応に不安をお感じのことと存じます。東京歯科保険医協会及び全国保険医団体連合会では、会員医療機関の実情を把握し、歯科医療機関が抱える諸課題を発信し、医療行政等に反映させるべくアンケート調査を実施することとしました。つきましては、ご多忙の折、大変恐れ入りますが、下記要領に沿ってアンケートにご協力をお願いいたします。

なお、当協会では「新型コロナウイルス感染症対策のQ&A」や「歯科医療機関での対応と院内感染防止対策」を作成して、ホームページに掲載していますので、ご活用いただければ幸いです (<https://www.tokyo-sk.com/covid-19/>)。

### アンケート回答要領

\* 下記アンケートの□内にチェック、または、下線部もしくは囲み内にご記入の上、  
FAXにてご返信ください。

**返信FAX宛先 03-3209-9918 (締切5月21日)**

\* 返信いただくアンケート用紙は2枚ございます。

\* ご回答いただいた内容は、調査の目的以外には使用いたしません。

\* 本アンケートに関するお問い合わせは、03-3205-2999 (担当：経営管理部) までお願いします。

# 歯科新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する緊急アンケート

記入日 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日

前年同月と比較して売上げが50%以上減少した場合、持続化給付金が支給されることを知っていますか？

( はい・いいえ )

先生方の現状やお困りのことを取りまとめて、改善に向けた要請を行います。ぜひご協力を！

## 1. 基本事項

- ① 先生の年齢  20～30代  40代  50代  60代  70代～
- ② 歯科医療機関の所在地  東京都 (  23区内  市  町  村  島嶼 )  東京都以外 \_\_\_\_\_ 県
- ③ 歯科医療機関の土地・建物  自己所有  賃貸 (一戸建て)  賃貸 (テナント)
- ④ 診療形態について  外来のみ  訪問診療を行っている (全診療における訪問診療の割合 \_\_\_\_ (%))
- ⑤ 標榜している診療科 (該当するものはすべてチェックをお願いします)
- 歯科  口腔外科  小児歯科  矯正歯科

## 2. 診療状況 (前年3月からみた今年3月は)

- ① 外来患者数  変化なし  増えた  減った (増減の程度=～30% ～50% ～70% 70%以上)
- ② 患者からの予約の延期やキャンセルの依頼件数
- 変化なし  増えた  減った (増減の程度=～30% ～50% ～70% 70%以上)
- ③ 電話再診件数
- 変化なし  増えた  減った (増減の程度=～30%、～50% ～70% 70%以上)
- ④ 保険診療収入
- 変化なし  増えた  減った (増減の程度=～30%、～50% ～70% 70%以上)
- ⑤ 医業総収入 (自費診療収入などを含む)
- 変化なし  増えた  減った (増減の程度=～30%、～50% ～70% 70%以上)
- ⑥ (訪問診療を行っている先生の場合、訪問診療についてご回答ください)
- 変化なし  増えた  減った (増減の程度=～30% ～50% ～70% 70%以上)

## 3. 診療状況 (前年4月からみた今年4月は)

- ① 外来患者数  変化なし  増えた  減った (増減の程度=～30% ～50% ～70% 70%以上)
- ② 患者からの予約の延期やキャンセルの依頼件数
- 変化なし  増えた  減った (増減の程度=～30% ～50% ～70% 70%以上)
- ③ 電話再診件数
- 変化なし  増えた  減った (増減の程度=～30%、～50% ～70% 70%以上)
- ④ 保険診療収入
- 変化なし  増えた  減った (増減の程度=～30%、～50% ～70% 70%以上)
- ⑤ 医業総収入 (自費診療収入などを含む)
- 変化なし  増えた  減った (増減の程度=～30%、～50% ～70% 70%以上)
- ⑥ (訪問診療を行っている先生の場合、訪問診療についてご回答ください)
- 変化なし  増えた  減った (増減の程度=～30% ～50% ～70% 70%以上)

4. 患者さんの受診手控え、訪問診療先から断られる、診療できないことによる患者さんの口腔状況の悪化等、お気づきの点やお困りの点がありましたらご記入ください



5. 現在の診療状況に関して

① 休診等への対応について

- 通常通り診療している  診療日数・時間を減らしている  休診している(期間: ~ )  
 休診を予定している  閉院を検討  閉院した

② 診療日数・時間の減少や休診等を決めた理由をお聞かせください(※複数回答可)

- 患者さんが減った  緊急事態宣言が出されたから  感染を防ぐため  
 (患者やスタッフから)感染者が出た  スタッフが確保できない

6. 医療機関スタッフの勤務・出勤等の対応について(※複数回答可)

- 特に変更なし  スタッフの勤務調整(勤務時間短縮、出勤日の調整など)を行った  
 スタッフの出勤日数を減らした  出勤できない職員がいる(理由: )  
 やむを得ず解雇した

7. 医療機関のスタッフの勤務時間や日数を減らした場合の給与支給について

- 全額支給している  一部支給している( %支払い)  無給としている  未定、今後検討

8. 医薬品や衛生用品、防護用品等の現時点での確保状況(発注中で未着のものは含まない)

- ① 医療用マスク  充足  在庫1カ月以内  在庫半月以内  在庫1週間以内  既に在庫なし  
② 手指消毒剤  充足  在庫1カ月以内  在庫半月以内  在庫1週間以内  既に在庫なし  
③ 機材消毒剤  充足  在庫1カ月以内  在庫半月以内  在庫1週間以内  既に在庫なし  
④ グローブ  充足  在庫1カ月以内  在庫半月以内  在庫1週間以内  既に在庫なし  
⑤ 防護服  充足  在庫1カ月以内  在庫半月以内  在庫1週間以内  既に在庫なし  
⑥ ゴーグル  充足  在庫1カ月以内  在庫半月以内  在庫1週間以内  既に在庫なし  
⑦ フェイスシールド  充足  在庫1カ月以内  在庫半月以内  在庫1週間以内  既に在庫なし  
⑧ 生理食塩水、精製水  充足  在庫1カ月以内  在庫半月以内  在庫1週間以内  既に在庫なし  
⑨ その他不足しているもの \_\_\_\_\_

9. 風評被害について

新型コロナウイルスに関連して、いわゆる「風評被害」はありましたか

- ない  ある (→  に具体例をご記入ください)

10. 国・自治体等の助成金や融資について

① 申請する予定はありますか

- 申請した  申請を検討している  申請したいがわからない・できない  予定していない

② 国・自治体等に創設・拡充を希望する支援策(※複数回答可)

- 損失への補償(給付金)  人件費への補助  家賃等の補助  資金繰りの補助(特別融資など)  
 納税等の猶予措置  その他( \_\_\_\_\_ )、

11. コロナ感染拡大に伴う診療対応や感染防止対策、医院経営、スタッフの雇用などで不安やお困りごと、その他、行政への要請、保険医協会・医会、保団連への要望等ありましたらご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

## 将来にわたる患者減少が

9割の回答者が患者減を報告。中には7割以上減少も。

「新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する緊急アンケート」速報版

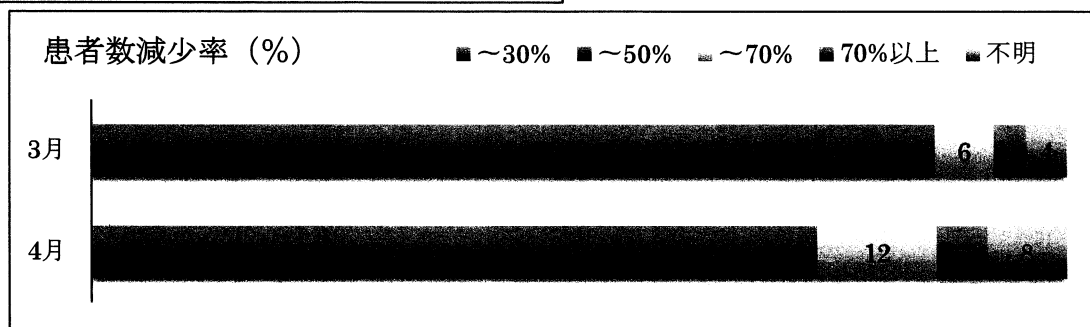
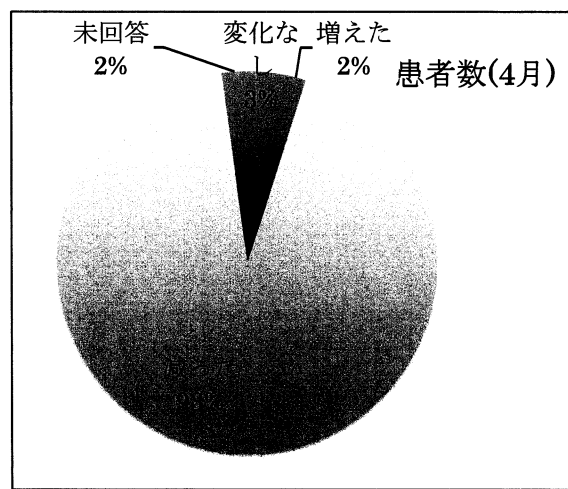
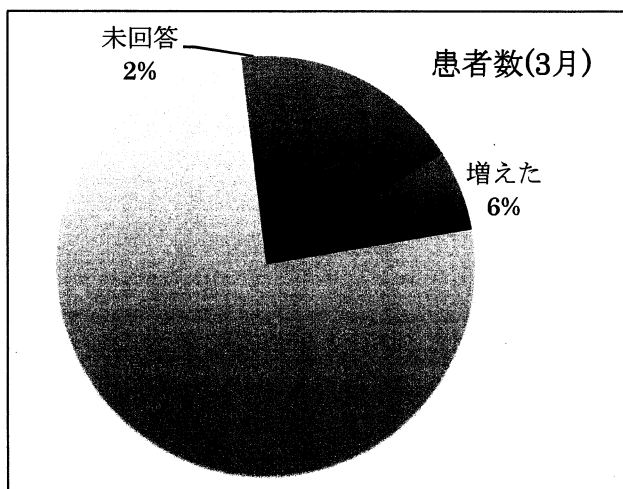
東京歯科保険医協会  
会長 坪田 有史

東京歯科保険医協会（以下、東京歯科協会）では、保団連が提起した「新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する緊急アンケート」を、東京歯科協会の独自項目を追加して実施した。5月15日から22日にかけて、東京歯科協会 FAX 登録会員、約3,500名に対して実施し、1,108名（23区882名、23区外220名、不明6名）から回答を得た（回答率31.6%）。

### < 9割の歯科医療機関で患者減 >

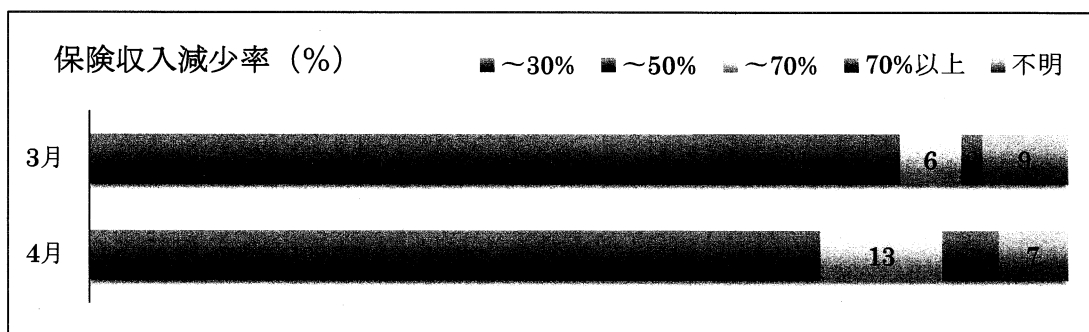
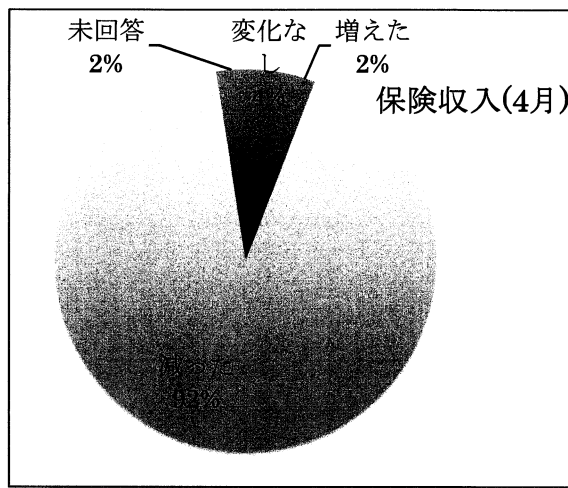
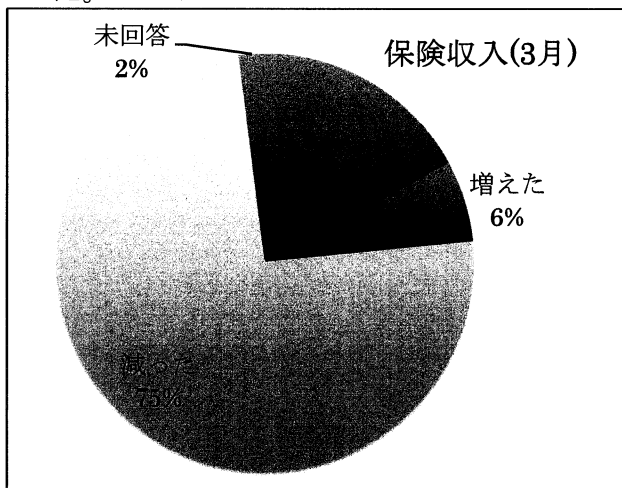
前年3月に比較して今年の3月が患者減となった回答者が76%であったが、前年4月と比較した4月では93%が患者減と回答しており、3月よりも4月の方が患者の減少が17ポイント進み、9割以上の歯科医療機関で患者減となったことがわかった（円グラフ参照）。

内訳をみると、減少した割合が「～30%」である回答者が3月は64%であったのに対し、4月には41%と減少した。一方、「30～50%」は3月が23%で4月は34%、「50～70%」は3月が6%で4月は12%、「70%以上」は3月が3%で4月は5%と増加しており、患者減が進行し、その減少の割合が増していることがわかった（棒グラフ参照）。



歯科医療機関での保険収入が前年同月より「減った」と回答した割合は、3月で75%、4月で92%であり、新型コロナウイルスの影響による患者減に応じて保険収入が減少をしていることが明らかとなった。

一方、保険収入の減少率は、30%以上減少したとの回答が3月で62%、4月で43%と減少し、反して50%以上減少したとの回答は3月で8%、4月で19%と増加していた。

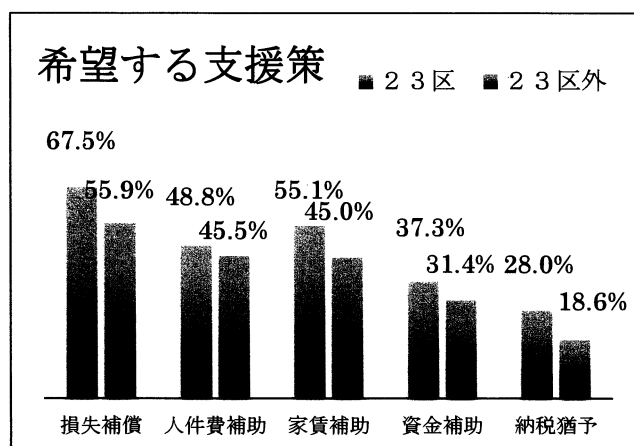
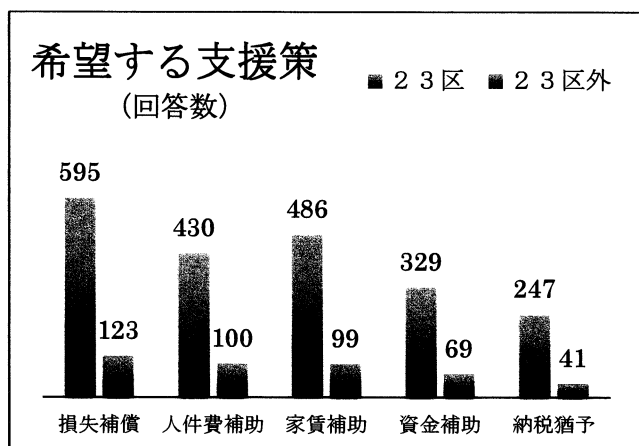


### < 歯科医院の経営が危機に >

この現状に対して希望する国や自治体の支援策は、給付型の損失補填を希望するとの回答が65%で一番多く、次いで家賃(テナント料)補助53%、人件費補助48%と続いた(支援策の回答は複数回答)。

また、23区と23区外を比較すると、23区の回答の方が希望する支援策全てで割合が高かった。

	件数	
損失補償	722	65%
人件費補助	535	48%
家賃補助	590	53%
資金補助	401	36%
納税猶予	291	26%
その他	26	2%
未回答	16	1%
総計	2581	



自由回答には、「個人事業の限界で経営を維持できない」、「自費診療が無くなることによる収入減が心配」と訴える回答があった。また、「緊急事態宣言が解除されたとしても、直ぐに患者さんが来院してくれるか心配」と今後の影響への危惧も綴られていた。

歯科は、厚生労働省や日本歯科医師会からの通達などにより、緊急性のない処置を避けて診療を継続した歯科医療機関は少なくない。そのため、歯科特有の保険点数の比較的高い修復物や補綴物に関して、3、4月に形成、印象を控えた影響で5月以降暫くの間は保険収入が少なくなる可能性が高く、医科と違って歯科は治療内容に影響を受けやすい。したがって、来院患者数と共にその影響により、収入減が長引くことが予想される。

歯科医療機関は、患者・国民の口腔の健康を保つ上で欠かせない存在である。また、口腔の健康が全身の健康に大きく関わることも証明されてきている。新型コロナウイルスにより、歯科への通院患者が減少していることは、国民の口腔の状態・全身の健康状態の悪化が進むことを意味している。また、歯科の厳しい経営状態をこのまま放置して、歯科医療機関が倒産をするようなことになれば、国民の健康に大きなマイナスとなってしまふ。

5、6月はさらに深刻な状況になる可能性があり、歯科医療機関の実態について引き続き注視する必要があると考える。

以上

※ 本資料は5月22日現在でのアンケートの結果を仮集約したものです。東京都の歯科保険医療機関の状況を調査した資料としてご利用ください。なお、最終集計は6月中旬に保団連の集計とともにまとめて発表する予定です。

※ 無記名によるアンケート調査のため、開業地不明が存在しています。

#### **東京歯科保険医協会**

東京都の歯科保険医約 5,800 名の団体。全国保険医団体連合会（保団連）に加盟。1973年4月設立。会長：坪田有史（文京区開業）。

---

アンケートに関する問い合わせ先  
東京歯科保険医協会事務局（担当：築館）  
電話 03-3205-2999